

精華女子高等学校 専願入学試験問題

国 語

特別進学コース

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 字数指定の問題については、句読点・記号などあれば、字数に含みます。

受 験 番 号	氏 名
番	

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「世間」というのは、あなたと、現在または将来、関係のある人達のことです。

具体的には、学校のクラスメイトや塾で会おう友達、地域のサークルの人や親しい近所の人達が、あなたにとつて「世間」です。

「世間」の反対語は、「社会」です。

「社会」というのは、あなたと、現在または将来、なんの関係もない人達のことです。例えば、道ですれ違った人とか、電車で隣に座っている人とか、初めていくコンビニのバイトの人、隣の学校の生徒などです。

日本は「世間」と「社会」という、二つの世界によって成り立っているのです。

具体的にどういうことか、説明しましょう。

あなたはおばさん達の団体旅行とかに出会ったことはありませんか？

昔、僕が車で電車を待っていた時のことです。

周りにおばさん達が何人かいました。

電車がホームに入ってきて、ドアが開くと、僕の前にいたおばさんが駆け込みました。

そして、四人掛けのシートの前に立って、僕の後ろに向かって声をかけました。

①「鈴木さん！ 山田さん！ ここ、ここ！」

後から来たおばさん達は、その声に従って、僕を追い越して当然のようにシートに座りました。

僕ともう一人の乗客は、おばさんにブロックされて、シートに座れませんでした。

一般的なルールでは、乗ってきた順番にシートに座るはず②です。でも、このおばさん

は、僕達を無視して、後ろの仲間を呼んだのです。

③どうです。こんなコウ景、見たことないですか？

僕を無視したおばさんは、冷たい人でしょうか？ そうじゃない、ということをおばさんは分かるでしょう。

このおばさんは、おばさんを知る人達の間では、おそらく、世話好きで面倒見がいいと思われているはず④です。

おばさんは、自分に関係のある人達を大切にしているのです。

「世間」は、自分と関係のある人達のことだと書きました。

つまり、このおばさんは、自分の「世間」を大切にしているのです。

そして、次に乗ってきた僕ともう一人の乗客は、自分と関係のない「社会」の人なのです。だから、簡単に無視できるのです。

日本人は、基本的に「世間」に生きています。

自分に関係のある人達をとて大切にします。けれど、自分に関係のない「社会」に生きる人達は、無視して平気なのです。

それは、冷たいとかいじわるとかではなく、生きる世界が違うと思っっているからです。あなたも、街で知り合いに会うと、気兼ねなく声をかけるでしょう。

「世間」に生きてる人とは、普通に話せます。

でも、知らない人にはなかなか声をかけられないはず⑤です。それは、「社会」に生きる人だからです。

⑥『cool japan』に出演しているブラジル人が、ある日、僕に言いました。

「日本人は本当に優しい人達だと思う。3・11の東日本大震災⑦の時、みんなが助け合っていた。私の国だったら、コンビニが襲われたり、交通が乱れてパニックになっていただろう。でも、日本人は、そんなことはなかった。素晴らしい」

ところが、数日後、彼は戸惑った顔をして僕に言いました。

「今日、ベビーカーを抱えた女性が、駅の階段を上がろうとしていた。彼女は、ふう言ういながら、ベビーカーを抱えていた。信じられない。私の国なら、すぐに彼女を助けて、ベビーカーを代わりに持ってあげるだろう。どうして日本人は彼女を助けないのか？ 日本人は優しい人達じゃなかったのか？」

⑧どうして助けないのか、日本人のあなたなら、その理由は分かるでしょう。

日本人は冷たいからか？ 違いますよね。

ベビーカーを抱えている女性は、あなたにとつて X だからですよ。

つまり、あなたと関係ない人だから、あなたは手を貸さないので。いえ、貸せないと言ってもいいです。他人には声をかけにくいのです。

もし、その女性が、あなたの知っている人なら、あなたは間違いなく、すぐに助けたでしょう。

冷たいとか冷たくないとか、関係ないのです。

私達日本人は、自分と関係のある「世間」の人達とは簡単に交流するけれど、自分と関係のない「社会」の人達とは、なるべく関わらないようにしているのです。

⑨というか、より正確に言えば、関わり方が分からないのです。

この本を読んでいるあなたの周りには、「世間」と「社会」という2種類の世界があるのです。

あなたはふだん、学校や塾、近所の知り合いの人達という「世間」に生きているはず。そして、道や駅やお店で会った「社会」に生きる知らない人と長く深く話し込む「機カイ」は、あまりないと思います。

それが、^④平均的な日本人です。

(鴻上尚史『空気』を読んでも従わない——生き苦しさからラクになる)

(注) cool japan……筆者が出演しているテレビ番組。

問一 —— 線 a～c と同じ漢字を含むものを次のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。また、その漢字を書きなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----------|---|----------|---|-----------|---|-------------|
| a | コウ景 | ア | 映画がコウ開される | イ | 観コウ客が多い | ウ | 親コウを深める | エ | 天コウが良くなる |
| b | 震サイ | ア | 彼は将棋の天サイだ | イ | 実サイにあつた話 | ウ | 事件の詳サイを知る | エ | 火サイに遭う |
| c | 機カイ | ア | 舞踏カイに行く | イ | 自然カイのおきて | ウ | 愉カイな仲間 | エ | 自分の行動を後カイする |

問二 —— 線①「鈴木さん！ 山田さん！ ここ、ここ！」とありますが、このときのおばさんの心情として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 二人のために席を取ってあげたい。
- イ 私たちのグループを優先してほしい。
- ウ 間にいる人を排除してほしい。
- エ みんな平等に座れるようにしたい。

問三 —— 線②「でも、このおばさんは、僕達を無視して、後ろの仲間を呼んだのです」とありますが、筆者はこのことをどのように説明していますか。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本人は「社会」に生きており、自分に直接関係のない人とも関わりを持って生きている。そのため、この女性は、筆者ともう一人の乗客が自分達に席を譲るだろうと考えた。
- イ 日本人は「世間」に生きており、自分に関係のある人達を大切にする傾向がある。そのため、この女性は、仲間のために筆者たちを差しおいても席を確保しようと考えた。
- ウ 日本人は「世間」に生きており、自分に関係のある人達を大切にする傾向がある。筆者ともう一人の乗客は、この女性の「世間」に含まれていないため意識されなかつた。
- エ 日本人は「社会」に生きており、自分に直接関係のない人とも関わりを持って生きている。この女性は、筆者ともう一人の乗客との関わりを断つことで、仲間を優先しようとした。

問四 —— 線③「彼は戸惑った顔をして」とありますが、彼は何に戸惑ったのか。四十字程度で説明しなさい。

問五 —— X に当てはまる語句を本文中から九字で抜き出しなさい。

問六 —— 線④「平均的な日本人」の特徴について、筆者が説明している部分を本文中から二文で抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問七 次に示すのは、三人の中学生が本文および【資料】(本文とは別箇所の文章)を読んで話し合った場面です。会話文を読んで、I～VIのうち、筆者の意見に合うものには○、合わないものには×を答えなさい。

【資料】

驚くことに、ほとんどの外国には、「世間」はありません。「世間」は、とても日本的なのです。

欧米をはじめとしたほとんどの外国は、「社会」しかありません。

つまり、自分が知っている人達と知らない人達を分けられないのです。

エレベーターに乗ると、日本人は、全員が沈黙したまま、決して目を合わせず、じっとドアの上に表示された階数の数字を見つめています。

僕もあなたもそうします。

お互いが他人で「社会」に住む人達だから、会話できないのです。会話するつもりもないと言ってもいいし、エレベーターの中でどんなふうに話しかけたらいいかわからないと言ってもいいでしょう。

欧米では、エレベーターの中で、必ず、目礼か会釈か会話が始まります。

知らない者同士が会話することが当たり前前の「社会」に生きているからです。エレベーターのような狭い空間で、とても近い所に人が立っているのに、黙っている方が不自然に感じるので。

彼ら・彼女らは、日本に来て、全員が斜め上を向いたまま沈黙しているエレベーターを経験して、驚くのです。

また、欧米では、デパートやお店でドアを開けて入る人は、必ず後ろを見て、後から入ってくる人がいるかどうか確認します。

そして、すぐ後ろに続いて入ってくる人がいると、ドアを軽く手で支えて、次の人が入りやすいようにします。

その後ろの人もまた、後に続く人がいたら、同じことをします。

「社会」に生きているので、後に続く「社会」の人を意識しているのです。

日本だと、こんなことをする人はめったにいません。

後に続く人は「社会」の人なので、無視していい人達なのです。もちろん、後ろから同じ「世間」に住む仲間が続いていたら、ドアを手で支えて、入りやすくします。

「世間」に住む人だから、当然なのです。

海外に行くと、このドアのちよつとした心配りに感動します。

生徒Aさん——あまり意識していなかったけど、僕たち日本人は「世間」というものの中で生きていたんだね。^I

生徒Bさん——筆者は欧米における「社会」のあり方について【資料】のような文章を書いているよ。そこにはほとんどの外国人は日本人と違って「社会」の方を強く意識していると書いてあるね。^{II}

生徒Aさん——僕もバスでおばあさんが立っているのに気づいたんだけど席を譲れなかったんだよね。それは僕がおばあさんを「社会」の人だと思っていたからだよ。^{III}

生徒Cさん——「社会」の人との関わり方が分からなかったから、おばあさんに席を譲れなかったんだね。^{IV}

生徒Bさん——世間的な考え方はやめなきゃいけないね。もつと周りに目を向けていくような取り組みをしていくべきだよ。^V

生徒Cさん——これからは日本人も「社会」で生きていくべきだと思うよ。^{VI}

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「私」は総合スーパーの婦人服売り場で働いている。客からのクレームに上手く対応ができず、落ち込んだ気持ちのまま昼休憩に入ったところ、眼鏡店に勤める桐山に会って励まされ、おにぎりをもらう。

おにぎりを一口、食べる。ごはんについている塩加減がいい感じだ。おいしい。ぷつちりした焼きたらここと、しっかりとにぎられたごはんが絶妙な好相性だった。白に抱かれているようなコーラルピンク。私は黙ったまま、ばくばくと夢中で食べた。

「そんなにうまそうに食べてくれて、嬉しいなあ」

桐山くんが笑った。なんだか急に、元気が出てきた。こんなに即効性があるんだ。

「……おにぎり、すごい」

「だろ？ すごいよな！」

予想以上に反応のいいリアクションだったので、ちょっと驚いて桐山くんを見ると、彼は言った。

「メシ、大事だよ。しっかり働いてしっかり食う」

なんだかすごく、想いのこもった声だった。私は訊ねる。

①桐山くん、なんで出版社辞めちゃったの？」

桐山くんはおにぎりのアルミホイルを剥き始めた。

「出版社じゃなくて、編集プロダクションにいたんだ。スタッフ十人くらい」

そうか、雑誌を作るって出版社だけじゃないんだ。

いろんな会社があるし、いろんな仕事がある。私は知らないことばかりだ。桐山くんは続けた。

「雑誌だけじゃなくて、何でも屋っていうか。チラシとかパンフレットとかも。映像にまで手を出しかけてさ。社長が見切り発車^いでほんほん仕事受けてくるから、実際に作業するこっちはもうへとへと。徹夜あたりまえだし、会社の床に上着敷いて寝たりとか、風呂に三日入ってないとか」

桐山くんは笑いながら、ふと遠くに目をやる。

「でも、この業界ってそういうもんかなと思ってたし。それも含めて、雑誌の仕事してる俺ってすごいじゃん……って、勘違いしてた」

そこから桐山くんは、黙っておにぎりを三口食べた。私も黙る。

「……………メシ食う時間もぜんぜんなくて、体調ガタガタで、栄養ドリンクの空き瓶がそこらじゅうに転がってて。あるとき、それ見てたら急に、あれ、俺、なんで働いてるんだっけって疑問がわいてさ」

桐山くんは最後のかたまりを口に放り込んだ。

「食うために仕事してるのに、仕事してるせいで食えないなんて、そんなのおかしいと思っただ」

アルミホイルをくしゃつと握り、桐山くんは「うまかった」とつぶやく。そしてこちらに顔を向けて明るく言った。

「今は人間らしい生活してるよ。ちゃんと食ってるし、寝てるし、戦略的な目でしか見られなかった雑誌や本を読むのも心から楽しんでる。毎日のことを立て直して、体調を整えてるところ」

「……雑誌作るのが、そんなに大変なんだね」

「いや、そんな会社ばかりじゃないから！ たまたま俺がいたところはそうだったっただけで」

桐山くんは手をぶんぶん振る。何かをかばうように。私が偏見を持たないようにしているのかもしれない。やっぱり彼は、雑誌の仕事が好きだったんだろう。過酷な状況が、その気持ちをへこませてしまっただけで。

「それに、あの会社や、あそこでごんばってる人を否定する気はないんだ。ちゃんと自分をコントロールできればああいうやり方が合ってる人もいるのかもしれないし、仕事漬けになることに充実感を得る人もいるんだと思う。ただ俺は、違っただけで」

桐山くんはお茶をゆつくりと飲んだ。

私は遠慮がちに訊ねる。

「眼鏡屋さんって、ぜんぜん違う職種じゃない。そこに不安はなかったの？」

「前、雑誌で眼鏡特集の記事を書いたことがあったんだけど。そのときにかなり綿密な取材したの。それで、眼鏡面白いなって思ったのが受けるきっかけだった。採用試験のとき、面接官がたまたまその雑誌を読んでくれてたらしくてさ、大盛り上がりだよ。インタビューした眼鏡デザイナーが知り合いだったみたいで」

桐山くんは嬉しそうに続けた。

「そういうのって、狙ってどうこうできることじゃないじゃん。だから、まず俺に必要なのは、目の前のことにひたむきに取り組んでいくことなんだと思った。そうやってるうち、過去のがんばりが思いがけず役に立ったり、いい縁ができたりね。正直、ZAZ^{注1}

に転職して、これから先のことをはっきり決めてるわけじゃないよ。決めてもそのとおりにいく保証はないし。ただ」

そこで一度区切ると、桐山くんは静かに言った。

②「何が起きるかわからない世の中で、今の自分にできることを今やってるんだ」
「じゃなく、自分に話しかけるように。」

私が休憩から戻ると、上鳥さんの姿がなかった。

スタッフ何人かに訊いたら、急に品出しチェックしてくると言っただこかへ行っちゃったらしい。逃げたな、と思ったけどどうすることもできない。

午後二時を過ぎたころ、さっきのお客さんがやってきた。

「上の人、いらしてる？」

私は身を固くする。返品を受けるわけにはいかないし、どう説得すればいいのだろう。でも対応するしかない。私を取り組むべき「目の前のこと」は、もっかこの件なのだ。すると、レジにいたはずの沼内さんがすつと横にきた。

「お客さま。どうされましたか」

お客さんは沼内さんを「上の人」だと認識したのだろう、矢継ぎ早に文句を並べた。断定的に一方的に、私が悪者だった。沼内さんは、お客さんの気が済むまで真剣な表情で「ええ」「はい」「そうでしたか」と相槌を打っている。お客さんがしゃべりただけじゃべると、沼内さんは穏やかに言った。

③「まあ、洗濯機でお洗濯を。それは縮んでしまいますね、びっくりなさったでしょう」
お客さんの顔色が変わった。沼内さんがニットの裏をめくり、タグの洗濯表示を見せたのだ。桶おけに手を入れている図は、手洗いの意味を表すマーク。

「私もよくやってしまっただけですよ、表示をちゃんと見ないで、洗濯機にガラガラかけちゃって」

「あ……それは」

お客さんが口ごもる。沼内さんは快活に続けた。

「でも、元に戻せる方法があります。洗面器にリンスをちよつと入れていただいでね、ぬるま湯で溶いて、セーターを浸していただいで。すぐに取り出して絞って伸ばして、平干しで完了です」

リズムの良い説明だった。

「このニットはたいへんな人気で、最後の一点だったんですよ。ちよつと独特なマゼン

タで、なかなかこんな風合い出ませんもんね」

「マゼンタ？」

お客さんの顔が、ふとやわらかくなる。

「ええ、この色のことです」

赤紫のニットが急にファッショナブルに感じられた。マゼンタカラー。たしかにそういう言い方もある。

「デザインもシンプルでいろいろ合わせやすいです。一枚持っていて絶対に損はないですもの。首元もスッキリしているし、この色なら春先までおしやれに着られますよ」

「……リンスで、戻すのね？」

「ええ。それで戻ると思いますが。大切に長く着てくださいね」

完全に、沼内さんが流れをリードしていた。

クレマー客をみるうちに納得させ、返品させない方向に持っていつている。そして沼内さんはわずかに声のトーンを落とし、笑顔を保ちながらもシャープに言った。

「何かご要望がございましたら責任者からご連絡させますので、お客さまのお電話番号をお聞かせいただけますか」

ちよつとした圧をかけるのを忘れない。お客さんは少しひるんだ様子で、「いえ、別にいいわ」と言った。

見事だった。

④「やっぱり、絶対勝てない、かなわない。」

そのあと沼内さんは気さくに会話を続け、お客さんは沼内さんにすっかり気を許した様子でなごやかに自分の話を始めた。

十年ぶりに会う友人との会食に着ていきたくて買ったこと、デパートは気後れするうえ、電車に乗って遠くまでは行きづらいこと、服選びに自信がなく、なにかひと工夫が欲しいということ。

沼内さんは私にレジへ行くようにと促したあと、お客さんにスカーフを勧め、結び方までレクチャーして購入に至らせた。それは遠目に見ても、お客さんや赤紫のセーターにとっても似合っていた。

きつとあのお客さんは、約束の日、あのスカーフを結びながら鏡の中の自分にほほえむのだろう。久しぶりに会うお友達と、晴れやかな気持ちで食事をするのだろう。

沼内さんは、すばらしい仕事をした。本当にそう思った。

エデンの婦人服販売員が「たいした仕事じゃない」なんて、とんでもない間違いだった。単に私が「たいした仕事をしていない」だけなのだ。

私はあるとき、早く休憩に行きたくて、心のこもらない接客をしていた。きっとそれはお客さんにも伝わっていたに違いない。

お客さんはレジでスカーフの入った袋を受け取り、「ありがとうねえ」と笑って帰っていった。良い買い物をしたときの、喜びの笑顔だった。

沼内さんが礼をする隣で、私も頭を下げる。

お客さんが見えなくなったのを確認すると私は、今度は沼内さんに深く頭を下げた。

助けられた、本当に。

「……ありがとうございます！」

沼内さんは、私にほほえみかける。

「ああいうときのお客さまってね、自分の話を聞いてもらえなかった、気持ちをわかってもらえなかったことが悲しいのよ」

私は今まで、沼内さんの何を見てきたのだろう。えらそうにしているパートのボスとしか思っていなかったかもしれない。

私はどこかで……どこかで、沼内さんを見下していたんじゃないか。自分が正社員で

あること、若いことに、変な優越感を持っていたんじゃないか。あのお客さんや、食堂のおばちゃんに対しても、つまらない自尊心が働いていたんじゃないか。

恥ずかしい。ほんとうに、顔を覆いたいぐらい恥ずかしかった。

私はうつむいたまま言った。

「いろいろと、勉強不足でした」

ううん、と沼内さんは首を振る。

「私だって最初はぜんぜん。続けているうちにわかることってあると思う。それだけよ」

勤続十二年、板についたコーラルピンク。私は沼内さんを、心の底から「すごい」と

思った。

(青山美智子『お探し物は図書室まで』)

(注1) ZAZ・(注2) エデン……ZAZは桐山が勤める眼鏡店。エデンは「私」が勤める総合スー

パーの名前。エデンの中にZAZの店舗が入っている。「私」が働く婦人服売り場ではコーラルピンクのブラウスを制服として着用している。

問一 〳〵線 i 「見切り発車」・ii 「矢継ぎ早」の意味として最も適当なものを次のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

i 「見切り発車」

ア 説明が十分なされないまま決定すること

ii 「矢継ぎ早」

ウ 状況を確認しないまま承認すること

ア じっくりと構えて正確に行うこと

ウ 続けざまに素早く物事を行うこと

問二 〳〵線 A～C の桐山の行動が表す内容として適当なものを次のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 回想 イ 決着 ウ 否認 エ 肯定

問三 〳〵線①「桐山くん、なんで出版社辞めちゃったの」とありますが、桐山が出版社を辞めた理由を本文の内容をふまえて四十五字程度で答えなさい。

問四 — 線②「私じゃなく、自分に話しかけるように」とありますが、この時の桐山の心情として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 今までの経験を振り返ることで、目の前のことに一生懸命向き合うことの大切さを意識し、今の自分ができることに集中して取り組もうと決意している。
- イ 今の仕事に前職での経験が生かされていたことに気づき、これから先の自分の仕事にとって今の仕事もさらに役立つことがあるはずだと確信している。
- ウ 将来のことははっきり決まっていけないが、今積み重ねている努力や作り上げた人間関係を今の仕事に生かしていくことが大切なのだと言いつけ聞かせている。
- エ 現在の仕事に就くことで、前職の良さを感じながらも今の自分が力を発揮できるのはこの仕事であると気づき、肯定的に受け止めている。

問五 — 線③「お客さんの顔色が変わった」とありますが、その理由を二十字以内で答えなさい。

問六 — 線④「やっぱり、絶対勝てない、かなわない」とありますが、この時の私の沼内さんに対する心情として適当でないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア お客様のことを考えた誠意のある接客をすることで、相手の心を満たした沼内さんに対して敬服した。
- イ お客様の理不尽なクレームに対して、きちんと対応するスキルを発揮した沼内さんに感心した。
- ウ お客様に寄り添った接客をすることで、心を開かせ、さらにお客様が満足する商品を提供した沼内さんに感激した。
- エ お客様の話を聞きつつも、論点をずらしていくことで見事に苦情に対応した沼内さんに対して驚嘆した。

問七 — 線⑤「恥ずかしい。ほんとうに、顔を覆いたいくらい恥ずかしかった」とありますが、その理由を説明した次の文章の空欄Ⅰ～Ⅲにあてはまる語句を、それぞれ（Ⅰ）は五字、（Ⅱ）は九字、（Ⅲ）は八字で本文中から抜き出しなさい。

私は沼内さんや他のパートの人に対して（Ⅰ）を持っており、彼女たちを見下していた。今まで婦人服販売員は「たいした仕事じゃない」と思い、この客に対しても（Ⅱ）をしていたが、沼内さんの仕事ぶりを見て自分の中に（Ⅲ）があったことに気づき、恥ずかしく思った。

問八 — 線⑥「板についたコーラルピンク」が表しているものは何ですか。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 年長者のシンボル
- イ 年長者のテクニク
- ウ 販売員としてのモチベーション
- エ 販売員としてのプライド

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「村上の御時に、宣耀殿の女御と聞こえけるは、小一条の左の大臣殿の御女に
村上天皇の時代 申し上げた方 娘で

おはしけると、誰かは知り奉らざらむ。まだ姫君と聞こえける時、父大臣の教へ聞こ
いらつしやつた 誰が存じ上げない人があるう

え給ひけることは、『一には、御手を習ひ給へ。次には、琴の御琴を、人より異に
習字 上手に

弾きまさらむとおほせ。さては、古今の歌二十巻を皆うかべさせ給ふを、御学問には
古今和歌集 暗記して思い浮かべなざること

せさせ給へ』となむ、聞こえ給ひける、と、(帝は)きこしめしおきて、御物忌みな
申し上げなざつた お聞きになつて

りける日、古今を持って渡らせ給ひて、御几帳をひき隔てさせ給ひければ、女御、

例ならずあやし、と、おほしけるに、草子を広げさせ給ひて、『その月、何のをり、
いつもと違つて お思になつたところ 書物

その人の詠みたる歌は、いかに』と、問ひ聞こえさせ給ふを、かうなりけり、と
こういうことなのだ

② 心得給ふも、をかしきものの、僻覚えをもし、忘れたるところもあらば、いみじかる
納得なざる 面白い 覚え違い 本心に恥ずか

べきこと、と、わりなうおぼし乱れぬべし。その方におほめかしからぬ人、二、三人
しいことだ どれほど御心配だつたことでしょう その方面に詳しい

ばかり召し出でて、碁石して数置かせ給ふとて、強ひ聞こえさせ給ひけむほどなど、
碁石で正答、誤答の数を 無理に答えさせようとなざつた
数えさせようとなざること

いかにめでたうをかしかりけむ。御前に候ひけむ人さへこそ、うらやましけれ。
お仕えしていた方々

せめて申させ給へば、さかしう、やがて未まではあらねども、すべてつゆ違ふことな
無理に答えを求めなざると 利口ぶつて 歌を最後までおつしやることはなかつた

かりけり。いかでなほ、すこしひがこと見付けてをやまむ、と、ねたきまでにおほし
なんとかして少しでも違つた所を見つけたら止めよう 悔しいほどまでにお思いに

めしけるに、十巻にもなりぬ。『さらに不用なりけり』とて、御草子に夾算さして、
なつたが もうこれ以上は無駄である しおりをはさんで

④ 大殿籠りぬるも、まためでたしかし。(後略)』
(二人は)お休みになられた

(清少納言『枕草子』)

(注1) 宣耀殿の女御……宣耀殿という部屋に住んでいる天皇の夫人

(注2) 物忌み……不幸を避けるために家にこもっていること

(注3) 几帳……部屋の間仕切りや目隠しに用いた家具

問一 ―― 線 i 「をかしき」、ii 「めでたう」には歴史的かなづかいが含まれていますが、それぞれ現代かなづかいに直して答えなさい。

問二 ―― 線「おほしめしける」の主語を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 帝 イ 宣耀殿の女御 ウ 小一条の左の大臣殿 エ 話し手

問三 ―― 線①「父大臣の教へ聞こえ給ひけること」とありますが、「父大臣の教へ」とは何ですか。三つ答えなさい。

問四 ―― 線②「心得給ふ」とありますが、女御は何に納得したのですか。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 急に会いに来た帝を不思議に思っていたが、帝は自作の和歌を披露し、誰かにほめられたのだと分かった。

イ いつもと違う帝の様子を不審に思っていたが、帝は自分と顔を合わせたくなくて、避けているのだと分かった。

ウ いつもと違う帝の様子を不思議に思っていたが、帝は和歌について質問し、自分を試そうとしているのだと分かった。

エ 急に会いに来た帝を不審に思っていたが、帝は本の内容について話し、二人で感想を語り合いたいのだと分かった。

問五 ―― 線③「すべてつゆ違ふことなかりけり」の現代語訳として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア お互いに間違えないよう答えた イ わざと間違えて答えた

ウ 全く間違えることがなかった エ 少しだけ間違えてしまった

問六 ―― 線④「まためでたしかし」とありますが、話し手は帝と女御のやりとりをどのように捉えていますか。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 目新しく、好奇心に富んだものとして評価している。

イ 独創的で、ユーモアのあるものとして賞賛している。

ウ 庶民的で、親しみやすいものとして評価している。

エ 教養深く、風流心に富んだものとして賞賛している。

精華女子高等学校 専願入学試験問題

数 学

特別進学コース

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 円周率は π で表します。
7. 答えに無理数が含まれるときは $\sqrt{\quad}$ の中を最も小さい整数とします。

受 験 番 号	氏 名
番	

1

次の問いに答えなさい。

- (1) $(-7)^2 - (-3^2) - 5$ を計算しなさい。
- (2) $\left(\frac{5}{2} - 0.5\right) \div \frac{5}{6} \times \frac{5}{3}$ を計算しなさい。
- (3) $3a^2b \times \frac{7}{6}ab \div \frac{a^2b^2}{14}$ を計算しなさい。
- (4) $3\sqrt{15} \times 2\sqrt{3} \div \sqrt{10}$ を計算しなさい。
- (5) 一次方程式 $5x + 8(10 - x) = 62$ を解きなさい。
- (6) 二次方程式 $x^2 + ax - 10 = 0$ の解の1つが2であるとき、 a の値を求めなさい。
- (7) 関数 $y = 2x^2$ について、 x の変域が $-2 \leq x \leq 1$ のときの y の変域を求めなさい。
- (8) 1つのさいころを投げるとき、素数の目が出る確率を求めなさい。
- (9) 正 n 角形の内角の和は 2520° です。 n の値を求めなさい。
- (10) 半径 6 cm 、弧の長さが $8\pi\text{ cm}$ であるおうぎ形の中心角の大きさを求めなさい。

2

右の表は、ある中学校の生徒 40 人について通学時間を調べ、度数分布表にまとめたものです。通学時間の平均値は 16 分です。次の問いに答えなさい。

階級(分)	階級値	度数(人)	相対度数	階級値×度数
0 以上 5 未満	2.5	0	0.000	0.0
5 ~ 10	7.5	2	0.050	15.0
10 ~ 15	12.5	18	0.450	225.0
15 ~ 20	17.5	(イ)	0.250	175.0
20 ~ 25	(ア)	5	0.125	112.5
25 ~ 30	27.5	3	0.075	(ウ)
30 ~ 35	32.5	1	0.025	32.5
35 ~ 40	37.5	1	0.025	37.5
計		40	1.000	680.0

- (1) 上の表について、空欄 (ア) ~ (ウ) にあてはまる数を答えなさい。
- (2) 通学時間が 20 分未満の生徒は、通学時間を調べた生徒 40 人の何%か答えなさい。
- (3) 第 1 四分位数を含む階級を答えなさい。
- (4) 度数分布表から求められる平均値の近似値を答えなさい。ただし、近似値とは真の値に対して、真の値ではないがそれに近い値のことです。
- (5) (4)で求めた平均値の近似値から通学時間の平均値 16 分を引いた差のことを誤差といいます。度数分布表の階級の幅を 5 から 10 に変えてまとめ、同様に平均値の近似値を求めるとどうなりますか。次の①~③から 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ① 一般に、階級の幅を大きくすると、誤差は大きくなる。
- ② 一般に、階級の幅を大きくすると、誤差は小さくなる。
- ③ 一般に、階級の幅を大きくしても、誤差は変わらない。

3

東さんと西さんは、完成した製品を点検する仕事を工場ですべてしています。1時間に製品を点検できる個数は、東さんが a 個、西さんが b 個です。ある日、東さんと西さんがそれぞれ240個の製品を点検したところ、東さんは3時間、西さんは4時間かかりました。東さんと西さんの作業効率はそれぞれ常に一定で、この工場の勤務時間は、1日に8時間とします。次の問いに答えなさい。

- (1) 東さんと西さんが1時間に点検できる製品の個数を、それぞれ求めなさい。

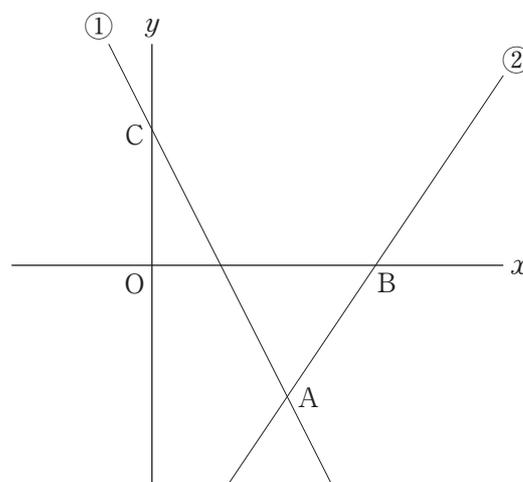
- (2) 西さんがちょうど2日の勤務時間で点検できる製品の個数と同じ個数を、東さんが点検します。東さんは、何日と何時間勤務しますか。

- (3) 東さんと西さんは6000個の製品を2人で点検することになりました。2人で作業を始めましたが、西さんは作業を始めた翌日から2日間仕事を休みました。2人で作業を始めてから何日目に点検が終わりましたか。

- (4) 東さんと西さんが合計100時間作業をしたところ、点検した製品のうち213個が不良品でした。不良品は、点検した製品全体の3%にあたります。このとき、東さんが作業をしたのは100時間のうち何時間か求めなさい。

4

右の図のように、2つの関数 $y = -2x + 3 \cdots \textcircled{1}$, $y = ax + b \cdots \textcircled{2}$ のグラフがあり、 $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ のグラフの交点を A とします。点 A の x 座標は 3 であり、 $\textcircled{2}$ のグラフは点 $B(5, 0)$ を通ります。また、 $\textcircled{1}$ のグラフと y 軸との交点を C とします。



次の問いに答えなさい。

- (1) 点 A の座標を求めなさい。

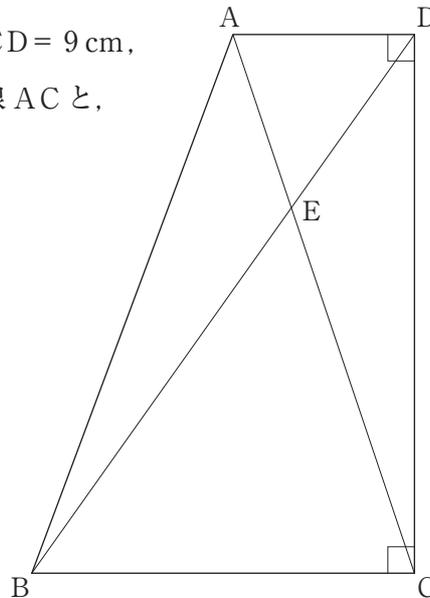
- (2) a , b の値をそれぞれ求めなさい。

- (3) $\textcircled{2}$ のグラフと y 軸との交点を D とします。このとき、三角形 ACD の面積を求めなさい。

- (4) 直線 $x = k$ を $\textcircled{3}$ とします。 $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$, $\textcircled{3}$ のグラフで作られる三角形の面積が 63 になるとき、 k の値を求めなさい。ただし、 $k < 3$ とします。

5

右の図のように、 $\angle ADC = \angle BCD = 90^\circ$ 、 $AD = 3\text{ cm}$ 、 $CD = 9\text{ cm}$ 、 $BC = 6\text{ cm}$ の台形 $ABCD$ があります。この台形の対角線 AC と、対角線 BD の交点を E とします。
次の問いに答えなさい。



- (1) $\angle DAE = 71^\circ$ 、 $\angle EBC = 56^\circ$ のとき、 $\angle AED$ の大きさを求めなさい。
- (2) 右の図で $\triangle AED \sim \triangle CEB$ であることを次のように証明します。

証明

$\triangle AED$ と $\triangle CEB$ において、
対頂角は等しいので、 \square (ア) \dots ①
 $AD \parallel BC$ より、 \square (イ) は等しいので、 $\angle ADE = \angle CBE \dots$ ②
よって、①、②より、 \square (ウ) ので、
 $\triangle AED \sim \triangle CEB$ である。

上の証明について、空欄 \square (ア) \sim \square (ウ) にあてはまるものを答え、証明を完成させなさい。ただし、(ウ)は次のA～Cから相似の条件を1つ選び、記号で答えなさい。

- A. 2組の辺がそれぞれ等しい
- B. 1組の辺の比とその両端の角がそれぞれ等しい
- C. 2組の角がそれぞれ等しい

- (3) 辺 DC を軸として、台形 $ABCD$ を回転させてできる立体の体積を求めなさい。

令和6.1.19実施

精華女子高等学校 専願入学試験問題

英 語

特別進学コース

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。

受 験 番 号	氏 名
番	

1

リスニングテスト（放送の指示に従って答えなさい。）

〈Part 1〉

Part 1 は Question 1～Question 4 の 4 問である。短い英文を聞き、それに対する最も適切な応答を A～C の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

Question 1～Question 4（選択肢はすべて放送される。）

〈Part 2〉

次に読まれる本屋での放送を聞いて、それに関する 3 つの質問に答えなさい。解答として最も適切なものを、下のア～ウの中からそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

Question 1 : If you go to the second floor, you can get an original ().

ア bookmark イ sticker ウ notebook

Question 2 : You have to buy () or more books to get an eco-bag.

ア one イ two ウ three

Question 3 : As the 10th anniversary celebration, they started ().

ア a new book shop イ an online book shop ウ a library cafe

2 次の1～3について、()に入る最も適切なものをア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

1. You should wash your hands carefully () meals.

ア until

イ before

ウ because

2. I was () a baseball game last night.

ア watch

イ watched

ウ watching

3. Could you ()?

ア show your textbook me

イ me show your textbook

ウ show me your textbook

3 以下の会話文を読んで、次の①～④の()内の語句を並べかえなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示している。

A : Hey, do you have any pets?

B : Yeah, I have a cat named Tama. ①(been / five / for / me / she's / with) years.

A : That's cool. I've always wanted a pet, but my parents won't let me.

B : Why not?

A : They say having a pet is a lot of work and they are ②(busy / care / of / take / to / too) a pet.

B : I see. But it will be a good experience.

A : I can imagine. What do you do for her?

B : Well, I ③(a day / feed / have / her / to / twice).

A : Yeah, ④(a lot / it / like / sounds / of / work), but you can learn many things.

4

次の [A] ~ [E] に入る最も適切なものをア~オからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

The Power of Breakfast

Breakfast is often said to be the most important meal of the day. Eating breakfast has good points on our bodies and minds. It gives us energy for the day and reduces the risk of *chronic diseases.

When we sleep, we use up the energy in our body. When we wake up in the morning, our *blood sugar levels are low, and [A]. Eating breakfast can provide us with the necessary energy for daily activities and wake up our brains. In addition to providing energy, breakfast can improve memory and attention. This is very important for students [B].

Also, [C]. Usually, people who eat breakfast every day are healthier than people who do not. This is because breakfast can [D] and *prevent some chronic diseases such as heart disease and *diabetes.

In conclusion, eating breakfast is very important for us to have an active and healthy life. If you often skip breakfast, [E].

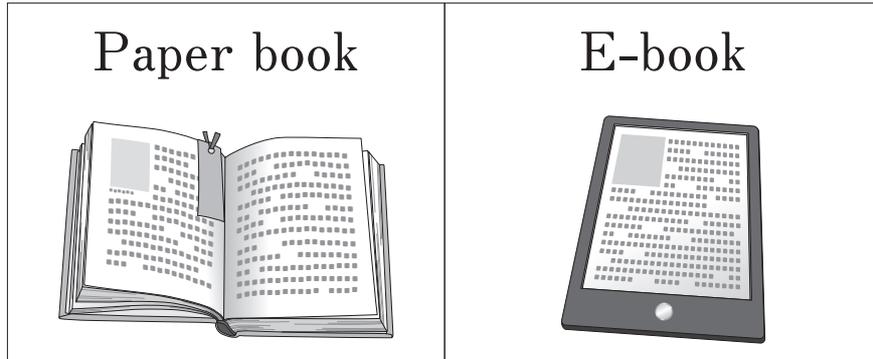
(注) chronic diseases : 慢性的な病気 blood sugar levels : 血糖値 prevent : ~を防ぐ
diabetes : 糖尿病

- ア help us control blood sugar levels
- イ when they study at school
- ウ you may miss a good chance to make your life better
- エ eating breakfast is good for our health
- オ we need to take energy to be active

5

次の各問いに答えなさい。

1. あなたは友人と、紙の本と電子図書について話しています。下の会話を参考に、 に当てはまる英語を書きなさい。ただし、語数はそれぞれ5語以上とする。



You : I bought a tablet and started reading e-books.

Your friend : Oh, really? How is it? Which do you like better, paper books or e-books?

You : .

Your friend : Why do you think so?

You : Because .

Your friend : I see. You said your bag was too heavy because of many books.

You : Yeah. Now it is very light and convenient.

2. 次の会話で下線が引かれている箇所を英語に訳しなさい。ただし、語数はそれぞれ10語以内とする。

A : おはよう。朝から暗い顔をしてどうしたの。

B : おはよう。① 母さんがもっと勉強するようにって言うんだ。

A : 私もだよ。受験生だし仕方ないかもね。

B : そうだね。君はどのくらい勉強してるの。

A : ② 毎日2時間勉強してるよ。

B : 頑張ってるね。僕も頑張らないといけないな。

6

次の英文を読んで、各問いに答えなさい。

Emma and An Old Man

Once upon a time, there was a small fish named Emma who lived in a beautiful pond in a small village. Emma enjoyed swimming and playing with her fish friends every day.

(a), an old fisherman arrived at the pond. He was very famous for his skill in catching fish. Emma and her friends were afraid of being caught by him, but the old man started *casting a net into the pond. Emma and her friends tried to *avoid the net, but she was *trapped with some of her friends. They were all scared and didn't know what to do. ①

As the old fisherman pulled in the net, he found Emma caught in the net. He looked at the small fish and saw the *fear in her eyes. Then, (②). He carefully took Emma out from the net and put her back into the pond.

(b), Emma and the old fisherman became friends. The fisherman visited the pond every day to watch Emma. Emma often swam up to the *surface of the water to greet him with her small *fins.

(c), the old fisherman got old and stopped fishing. He spent most of his days by the pond. He enjoyed watching the fish and listening to the sound of the water. Emma always stayed close to the man and showed her *appreciation every day.

Some years later, the old fisherman died. Emma felt very sad, but she never forgot the kindness that he showed her.

(注) cast : 投げ入れる avoid : ~を避ける trap : (罟など) にかける fear : 恐れ, 恐怖
 surface : 水面 fin : (魚の) ひれ appreciation : 感謝

1. (a) ~ (c) に入る最も適切なものを次のア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア As time passed	イ One day	ウ From that day
------------------	-----------	-----------------

2. 下線部①を解答欄に示されている日本語に合うように訳しなさい。

3. (②) に入る最も適切なものを次のア～ウから1つを選び、記号で答えなさい。

- ア he went home soon
- イ he had an idea
- ウ Emma was able to get away from the net

4. 本文の内容に合うものを次のア～オから2つを選び、記号で答えなさい。

- ア The old man was very good at fishing.
- イ Emma was caught and eaten by the old man.
- ウ The old man liked Emma, but Emma didn't like him.
- エ Emma didn't know that the old man died.
- オ Emma never forgot the old man and his kindness.

5. 次の会話は本文を読んだ生徒Aと生徒Bによるものである。次の (①) (②) に入る最も適切なものをア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- A : It was a good story, wasn't it?
- B : Yes, it was. But I have a question.
- A : What is it?
- B : Why did the old man *release Emma into the pond?
- A : That's a great question. I thought the same thing. (①)
- B : Maybe he felt sorry for Emma.
- A : Yeah. I thought he knew the *value of life.
- B : The value of life... It sounds a little difficult to me.
- A : It is a good chance to think about it.
- B : Yeah. But I want to (②).
- A : Of course, it is also an important thing. Let's ask others.

(注) release : ～を逃がす value of life : 命の価値

- ① : ア You're right. イ I didn't think so. ウ What's your opinion?
- ② : ア think by myself イ hear others' opinions ウ forget it